

# 令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

|     |            |
|-----|------------|
| 学校名 | 加古川市立中部中学校 |
|-----|------------|

**1 教育目標** 豊かな心 たくましく生き抜く力 自ら学ぶ力の育成

**2 基本方針**

(1)よりよい社会と幸せな人生をめざし、自ら学び続ける生徒を育てる。  
 (2)自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる生徒を育てる。  
 (3)健やかな体と忍耐力を持ち、他を思いやることができる生徒を育てる。  
 (4)豊かな人間性を持ち、自分で考え、進んで経験し行動できる生徒、礼儀正しく、規律を守る生徒を育てる。

**3 指導目標**

(1)基本的な生活の習慣の定着 (2)確かな学力の育成  
 (3)豊かな心と健やかな体の育成 (4)信頼される学校・開かれた学校の推進

**評価基準**

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

| 重点目標           | 評価項目   | 達成状況 | 改善の方策   |
|----------------|--|------|---|
| 基本的な生活習慣を定着させる | あいさつを励行する、丁寧な言葉遣いができる                              | B    | 前期はあいさつのできない生徒が増えてきたが、生徒会やPTAのあいさつ運動などを行うことで少しずつ改善している。                               |
| 確かな学力の育成を行う    | 基礎・基本の定着、家庭学習の充実、ICTの活用                            | A    | 数年間、課題の見られている家庭学習の充実にむけて、ICTの活用をはじめ個に応じた課題設定など教師が工夫を行えている。                            |
| 豊かな心の育成        | 心に響く道徳授業、不登校・いじめ対策・キャリア教育の充実                       | A    | 道徳科の授業や日々の生活で思いやりの心を育てようと努力できている。今後も不登校生への組織的な取り組みを継続していく。                            |
| 信頼される学校・開かれた学校 | 地域・保護者との連携・協働を行う、生徒や保護者との相談・寄り添いの強化、職員の勤務時間の適正化を図る | A    | 普段から、生徒や保護者からの相談にのるなど連携が取れている。ため池の清掃活動や地域の祭りなど地域との協働ができている。記録簿の利用で職員の勤務時間の適正化が図られている。 |

| 自己評価の適切さ (関係者評価)   | 達成状況 |
|--|------|
| あいさつ運動などにより改善傾向であるのは望ましいが、「基本的な生活習慣の定着」の改善への取り組みを今後も継続していただきたい。                      | B    |
| ICTの活用など個別最適な学習の充実が図られており、基礎・基本の定着や、教材の工夫に先生方がしっかりと取り組まれている。                         | A    |
| 道徳授業の全教職員での取り組みや、一人一人の悩みへの対応など内面理解に基づいた、組織的な生徒指導・不登校対策・いじめ防止対策に学校全体で取り組んでいる。         | A    |
| 先生方の勤務時間の適正化や働きやすい職場環境づくりができており、生徒に好影響を与えていると感じる。祭りなどの地域行事への参加などこれからも地域との連携を継続してほしい。 | A    |